

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-6 生活支援の確保
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	地域福祉課長 石橋 達也	電話番号	0852-22-5349
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	行旅病人等への支援事業		
目的	(1) 対象	行旅病人等	
	(2) 意図	必要な救護等が受けられるようにする。	
事業概要	市町村において、行旅病人等に対して必要な支援を行ってもらうため、その取扱費用を弁償する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	行旅病人等の救護率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		100.00	100.00	100.00	100.00	
式・定義	費用負担した人数/対象者数		実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		%
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	式・定義		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	315	401
うち一般財源(千円)	315	401

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・行旅病人への支援実績は0件、行旅死亡人に対する取扱の費用弁償は4件であり、申請受理後速やかに審査の上費用弁償を行った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・特になし

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
・特になし

②困っている状況が発生している「原因」
・特になし

③原因を解消するための「課題」
・特になし

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・今後も、申請を受理後は速やかに費用弁償を行う。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）